

平成30年9月30日(日)

# 第5回市川市長タウンミーティング

## 『市川市のごみ処理について』

市川市長 村越 祐民

# 市川市のごみ処理について

平成30年9月30日  
タウンミーティング資料

## 【ごみ処理の課題】

- ①ごみの最終処分場がない
- ②クリーンセンターの建て替えが迫っている
- ③分別排出が不十分

## 【ごみ減量に向けた取り組み】

平成29年4月 ごみ収集回数を変更  
燃やすごみ 週3回 ⇒ 週2回  
約2,200t 2.8%減 (前年度比)

## 収集回数変更後の新たな課題

## 【収集体制の見直し（案）】

夏場の臭い対策

利便性

夏場(7～9月)に「生ごみ・紙おむつ」の  
収集日を週1回追加

ごみ出し弱者への  
支援

利便性

高齢者や障がい者を対象とした  
「ごみ出し支援」の検討

「燃やすごみ」の  
さらなる減量

利便性・減量

剪定枝を分別収集して資源化を促進  
「ビン・カン」「不燃・有害」の  
収集を 月2回 ⇒ 週1回

# 本日の説明内容

1. 市川市のごみ処理の課題
2. ごみ減量に向けた取り組み
3. ごみの収集体制の見直し(案)について

1. 市川市のごみ処理の課題
2. ごみ減量に向けた取り組み
3. ごみの収集体制の見直し(案)について

# 1. 市川市のごみ処理の課題

- ① ごみの最終処分場がない
- ② クリーンセンターの建替えが迫っている
- ③ 分別排出が不十分

# 課題①ごみの最終処分場がない

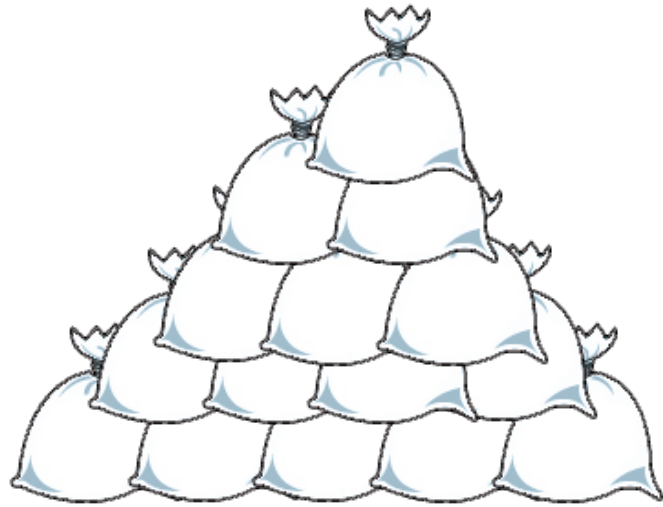


富津市、秋田県、山形県など

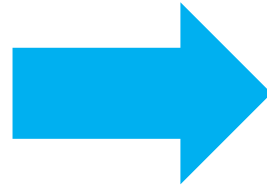


市外で処分する焼却灰などは、1年間で**約1万5千トン**、  
市民1人あたり**約33kg**、その埋め立てには、**約5億円**がかかっています。

# 課題②クリーンセンターの建替えが迫っている



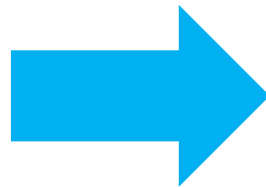
ごみが増えると・・・



費用も増える



ごみが減ると・・・



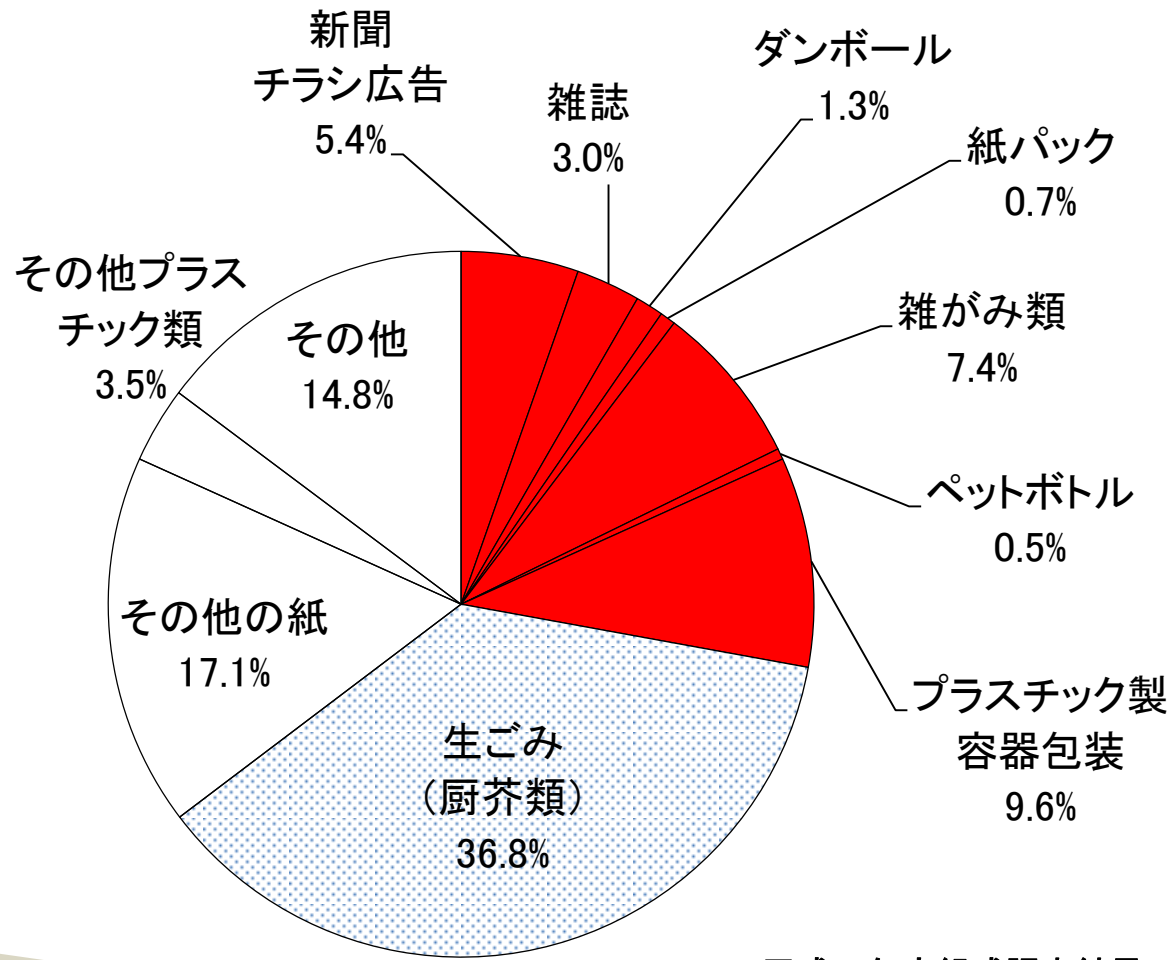
費用が減る



**約24億円**

家庭から出る燃やすごみが10%削減された時の建て替え費の削減見込み額

# 課題③分別排出が不十分



約3割が  
資源物

平成29年度組成調査結果

# ごみ減量・資源化の数値目標(いちかわじゅんかんプラン21)

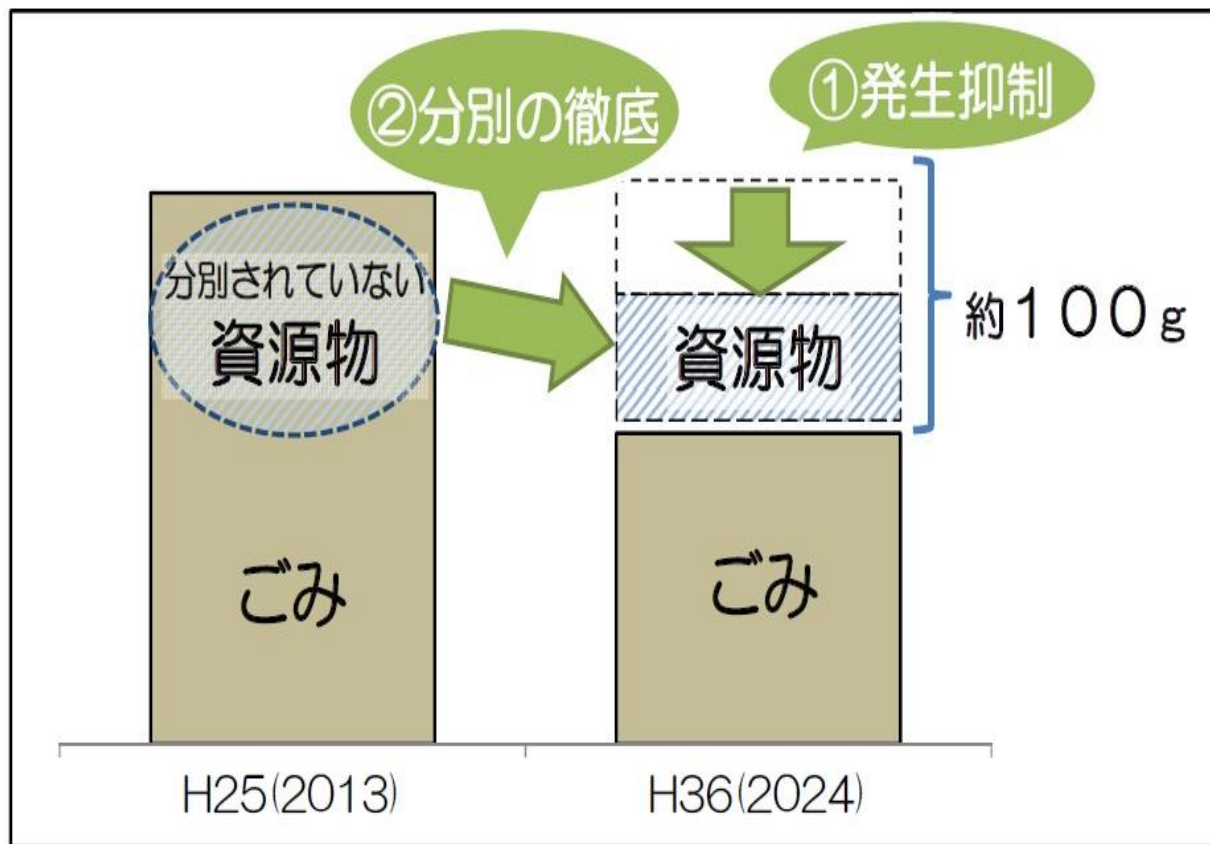
※市川市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成27年5月改定)

## いちかわじゅんかんプラン21の数値目標

項目	平成25年度実績 (基準年度)	平成36年度 目標
① 1人1日あたり排出量	846g/人・日	760g/人・日以下
② 資源化率	20.1%	27%以上
③ 焼却処理量	118,215トン	96,000トン以下
④ 最終処分量	12,199トン	7,200トン以下



# 各家庭のごみ削減目標のイメージ



各家庭では、ごみの発生抑制と分別の徹底を通じて、  
1人1日あたりのごみ排出量**約100g削減**が目標です。

1. 市川市のごみ処理の課題
2. **ごみ減量に向けた取り組み**
3. ごみの収集体制の見直し(案)について

## 2. **ごみ減量に向けた取り組み**

- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| 平成14年10月        | 「 <b>家庭ごみの12分別収集</b> 」を開始     |
| 平成15年11月        | 「 <b>資源物とごみの分別ガイドブック</b> 」を作成 |
| 平成25年11月        | 「 <b>使用済小型家電の拠点回収</b> 」を開始    |
| 平成26年 4月        | 「 <b>雑がみ</b> 」の出し方を簡素化        |
| 平成27年 7月        | ごみ収集回数の削減・家庭ごみの有料化・戸別収集の検討    |
| 平成28年10月        | スマートフォン用「 <b>ごみ分別アプリ</b> 」の導入 |
| <b>平成29年 4月</b> | <b>ごみの収集回数を変更</b>             |

## ■目的

### ○ごみの減量・分別の促進

ごみの排出機会が減ることにより、ごみの減量・分別への意識が高まります。

## ■変更内容

○燃やすごみ : 週3回 ⇒ 週2回

○燃やさないごみ・有害ごみ : 週1回 ⇒ 月2回

○ビン・缶 : 週1回 ⇒ 月2回

※その他の資源物は変更なし

# ごみ収集回数変更の効果<ごみの収集量>



単位:トン

品目		平成28年度 (A)	平成29年度 (B)	増減比較 (B-A)	
燃やすごみ		77,056	74,889	▲2,167	▲2.8%
主な 資源物	雑誌	2,871	3,080	209	7.3%
	ダンボール	3,693	3,745	52	1.4%
	布類	436	598	162	37.2%

## ごみの減量と分別の促進に一定の効果

一方で、こんな声も...

- ・夏場の生ごみや紙おむつのおい対策を求める
- ・1回あたりのごみ量が増えたためごみ出しが負担

1. 市川市のごみ処理の課題
2. ごみ減量に向けた取り組み
3. **ごみの収集体制の見直し(案)について**



### 3. ごみの収集体制の見直し(案)について

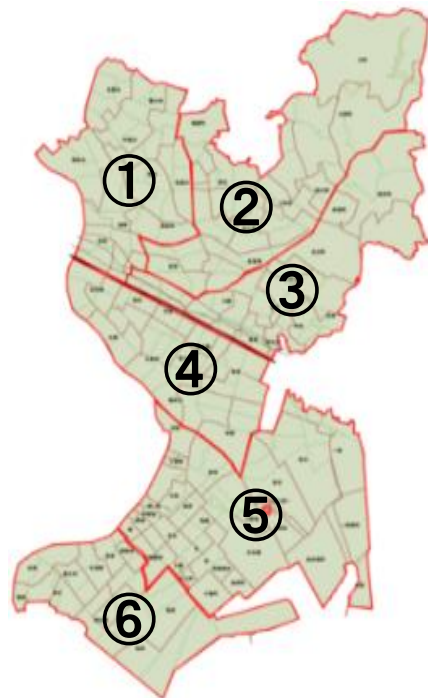


「ごみの減量」と「市民の利便性の向上」の両立

# 収集体制の見直し案①



## 7月から9月まで「生ごみ・紙おむつ」を追加収集



【赤字】は追加収集を行う曜日

①地区	月・木	+	水
②地区	水・土	+	金
③地区	水・土	+	月
④地区	月・木	+	火
⑤地区	火・金	+	木
⑥地区	火・金	+	土

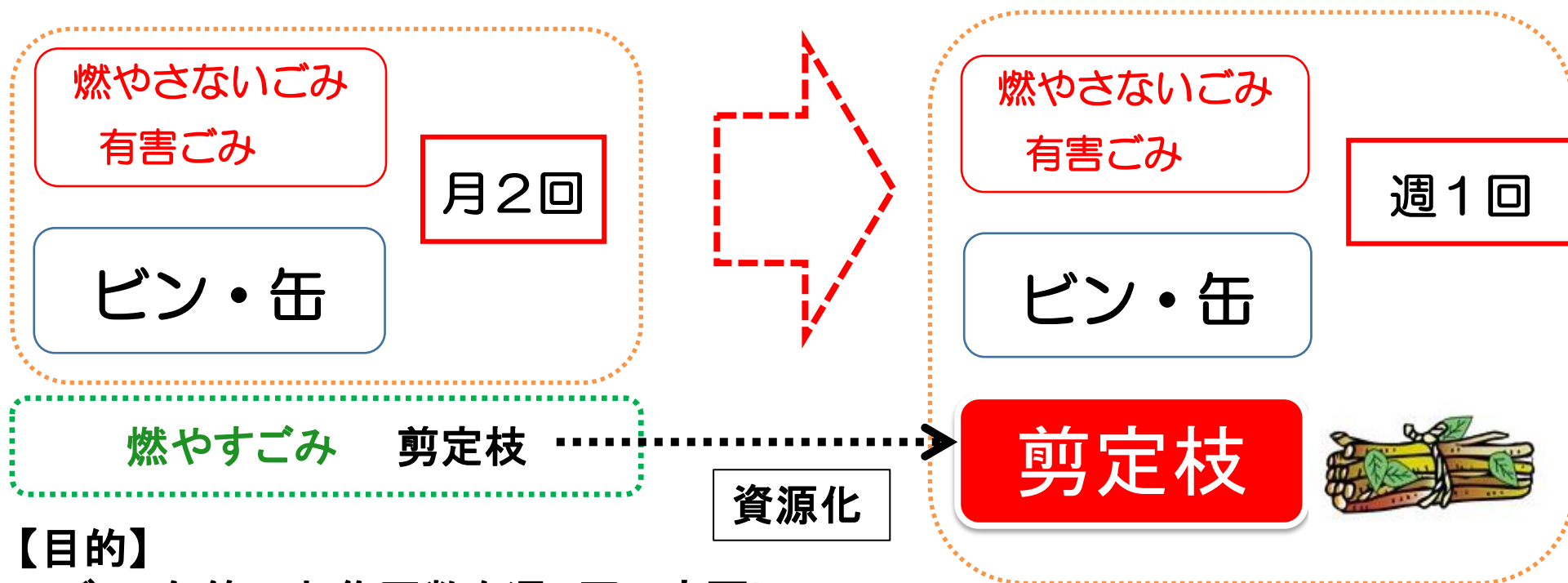
### 【目的】

- ・ 「生ごみ・紙おむつ」のにおい対策として実施します。
- ・ 現状の収集曜日の変更を行わないことで、収集日追加の混乱を減らします。

# 収集体制見直し案②

## 剪定枝を分別収集し資源化を推進

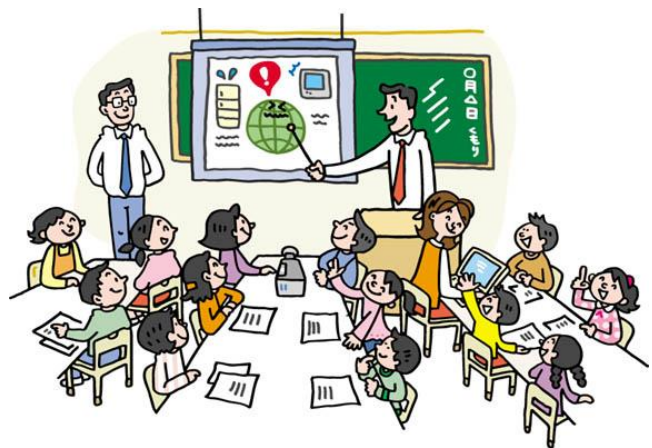
月2回収集の燃やさないごみ・有害ごみ、ビン・缶を週1回収集に変更して  
利便性を向上



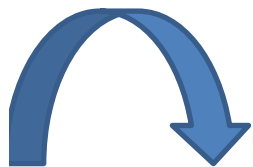
### 【目的】

- ビン・缶等の収集回数を週1回に変更し、収集車の空いたスペースを活用して、剪定枝を分別収集し、資源化することで、燃やすごみの量を減らします。(約1,000トンの焼却ごみ量が減ります。)

## 環境学習等を通じて、生ゴミコンポストの普及促進を図る



- ・モデル校を選出し、実証事業を進める。

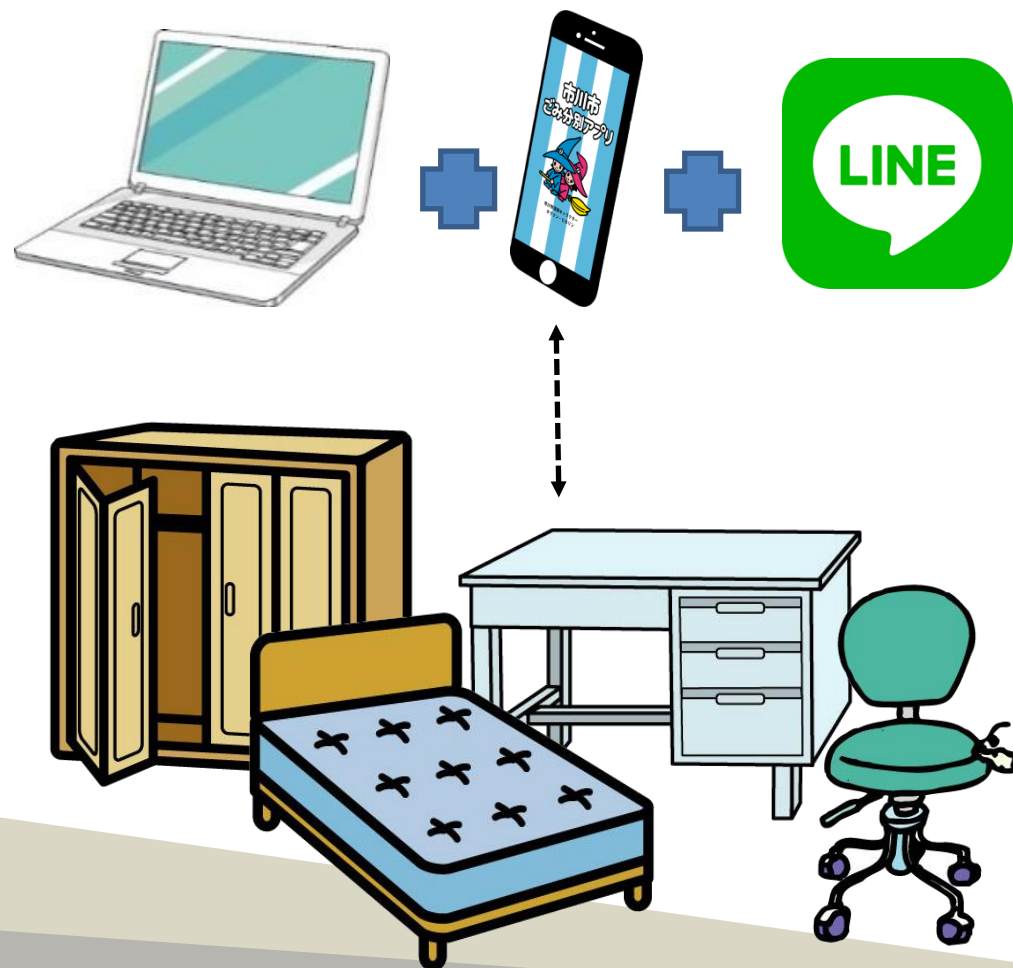


- ・環境学習を通じてコンポスト容器を周知し普及促進を図る。



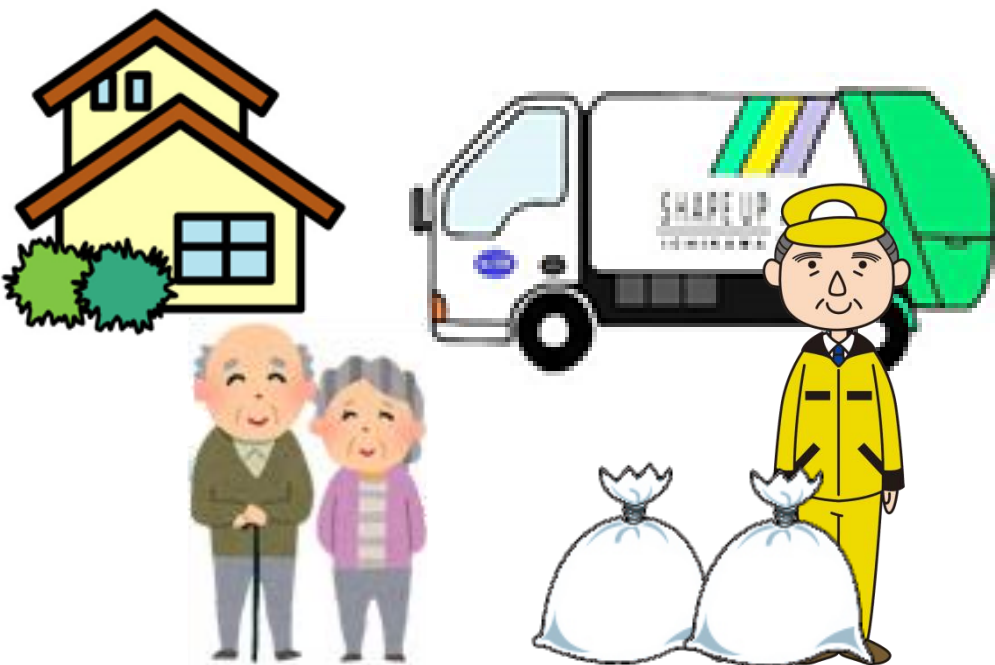
# その他の利便性向上策(平成31年度から実施予定)

## ICTを活用した大型ゴミ収集受付制度の導入



電話による受付に加え、インターネットによる受付を導入し、**LINE**を利用した料金の支払いも検討していきます。

## 高齢者や障がい者へのごみ出し支援



自らごみ集積所までごみを出すことが困難な方に対して、ごみ出し支援策を検討していきます。

H31年度はエリアを限定とした実証事業を実施  
H32年度より本格実施



# ペットボトルを減らします

なんでペットボトルなの？

①中国が使用済ペットボトルの輸入を禁止

②ペットボトル等による海洋汚染が問題になっている



長崎県対馬市



# ペットボトルを減らします



- ① マイボトル・マイカップを使いましょう
- ② マイボトル・マイカップ協力店で飲み物をお得にゲット  
(協力店はコンビニエンスストア、コーヒーチェーン他)

これだけでペットボトルを  
減らすことができます

【マイボトル・マイカップ キャンペーン】  
11月3日の市民まつりで、エコポ満点カード1枚  
で先着100人に、タンブラー1個を交換します。





# ペットボトルを減らします

他にも



- 職員は率先してマイボトル・マイカップを使います。
- 市内の企業や大学などに協力を呼びかけます。



キラリン



ご協力をお願いします。



ピカリン

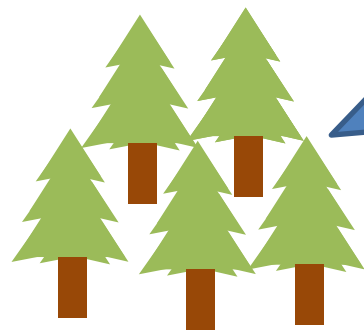
# プラスチック製容器包装類の分別

市川市ではプラスチック製容器包装やペットボトルをリサイクルしています。

仮に、これらプラスチック容器をクリーンセンターで焼却処理すると……排出される二酸化炭素は9,625 CO<sub>2</sub> トン 増加します。



プラスチック容器やペットボトル  
約6,000+



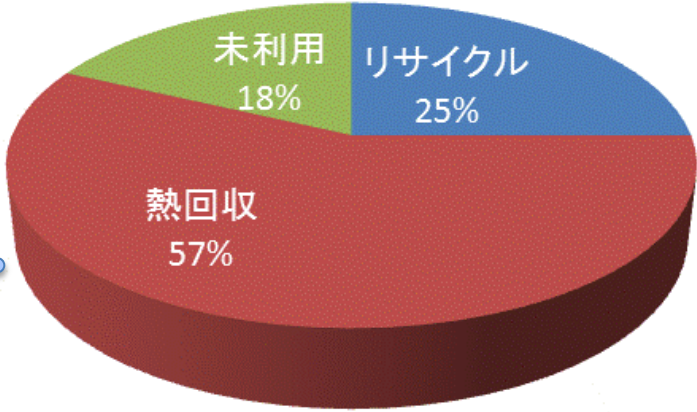
杉の木  
約69万本が  
吸収する  
CO<sub>2</sub>が発生

地球温暖化を防ぐためにも分別を！！



# 我が国のプラスチックのリサイクルの現状

焼却処理は  
二酸化炭素を発生  
地球温暖化に影響



再生利用  
25%

廃棄物発電、  
単純焼却、埋立  
75%

~~×~~ 安価で便利  
→ 使い捨て



使い捨てプラスチックの使用を  
削減する

(環境への配慮)  
再利用・リサイクルの徹底  
土壌や水中で分解される生分解性プラスチックの普及

# 市川市のごみ処理について

平成30年9月30日  
タウンミーティング資料

## 【ごみ処理の課題】

- ①ごみの最終処分場がない
- ②クリーンセンターの建て替えが迫っている
- ③分別排出が不十分

## 【ごみ減量に向けた取り組み】

平成29年4月 ごみ収集回数を変更  
燃やすごみ 週3回 ⇒ 週2回  
約2,200t 2.8%減 (前年度比)

## 収集回数変更後の新たな課題

## 【収集体制の見直し（案）】

夏場の臭い対策

利便性

夏場(7~9月)に「生ごみ・紙おむつ」の  
収集日を週1回追加

ごみ出し弱者への  
支援

利便性

高齢者や障がい者を対象とした  
「ごみ出し支援」の検討

「燃やすごみ」の  
さらなる減量

利便性・減量

剪定枝を分別収集して資源化を促進  
「ビン・カン」「不燃・有害」の  
収集を 月2回 ⇒ 週1回